

入室方法の現状と今後の課題

The present conditions of the entering a room method and a future problem

信州大学医学部附属病院 手術部 櫻井里美

要旨

これまで当院では局所麻酔手術の患者のみ車椅子で入室を行ってきたが、昨年度、整形外科病棟からの要望があり肩関節手術、手の外手術の患者に対して車椅子入室を導入した。しかし他の診療科・他疾患での車椅子入室導入には、患者の安全の確保や、車椅子入室が増えることによるプライバシーの配慮など、いくつかの問題があり導入には至っていない。そこで全診療科での車椅子あるいは歩行入室に関して問題点を明らかにし、今後の導入に向け検討した。

キーワード： 手術室、入室方法、車椅子

【はじめに】

これまで当院では局所麻酔手術の患者のみ車椅子で入室を行ってきたが、昨年度、整形外科病棟からの要望があり肩関節手術、手の外手術の患者に対して車椅子入室を導入した。患者は患部以外には障害もなく移動もスムーズにできることから、今のところ問題なく行われている。しかし他の診療科・他疾患での車椅子入室には、患者の安全の確保や、車椅子入室が増えることによるプライバシーの配慮など、いくつかの問題があり導入には至っていない。そこで全診療科での車椅子あるいは歩行入室に関して問題点を明らかにし、今後の導入に向け検討したので報告する。

【方法】

1) 手術部スタッフ、全病棟スタッフへ入室方法についてアンケートを実施した。

アンケート内容：結果（資料①②）

1、病棟からの申し送りについて

2、現在の入室方法について

成人、小児、保護者同伴入室

3、現在の車椅子入室についての問題・改善点

4、局麻の入室について

5、その他 要望など

2) 車椅子入室を主としたマニュアルを作成した。(資料③)

3) 作成したマニュアルを手術部スタッフ、病棟スタッフで問題点についての検討。

【結果・考察】

① 安全面では高齢な患者等に対し、車椅子からベッドへの移動時、転倒・転落の危険が考えられる。また運動障害など身体的問題で移動困難な患者に対し、どういう基準で対象患者を選択するのか、入室方法の決定時期について意見があった。

②プライバシーについては車椅子に乗ることで患者の視線が上から前に関わるにより他の患者と顔を合わせる事、また他の部屋の前を通る時に手術の様子が見えてしまわないだろうかなどの意見が出された。

患者からは術前・術後訪問時にストレッチャー、ハッチウェイの使用に対して、“おおげさ”“(ハッチウェイ)板が硬く痛かった”、“自分で動けるのに”などの意見が聞かれた。

これらの解決策としては、①転倒スコアの活用、術前訪問時の観察、病棟からの情報により判断する②ドア開閉の徹底、カーテンの活用などが考えられた。

【まとめ】

近年、他院においては歩行入室も導入されつつある。当院においても患者サービスの向上や、業務改善の一步とした車椅子入室の導入に向け、医療者側の意見については把握できた。今後は患者の意見も参考に更に検討をすすめ、患者が今以上に安全・安楽に入室ができ、かつ業務改善にもつながるようすすめていきたい。

手術室入室方法についてのアンケート 結果 病棟からの意見 資料①

- 1、 現在の入室方法について何か御意見があれば御記入下さい。
 - ・ 前室のどこを使っているかわからない。
 - ・ ドアの開閉が不便
 - ・ Ns (OPE室)の表情がその場で明らかに表情にでている。
 - ・ Dr が必ずついて行く形はくずして欲しくない
 - ・ ハッチウェイは不要
 - ・ 前投薬なし、安静に問題なしの患者様の入室は車椅子、歩行入室にして欲しい。
 - ・ 一律ストレッチャー入室をしなくてはいけない理由を教えてください。
 - ・ ハッチウェイに移動する必要性が理解できない。
 - ・ ストレッチャーで入室の方が患者さんの負担が少ない。
 - ・ 今どき裸になって移動することはおかしい。
 - ・ OPE 室まで坂がありストレッチャーだと方向転換を行ったりするので患者から目が回ると言われたこともある。
 - ・ 移動時、天井しか見えないので不安ではないかと思われる。
 - ・ リストバンドの確認は病棟 Ns でも手術室 Ns でもよいのではないか。
 - ・ ベッド・ストレッチャーのまま入室しても外に出されるのに時間がかかる。必要物品を持参したら準備してもらえるのか。
 - ・ 入室時入っているかわからない。
 - ・ 患者確認の仕方が違うスタッフがいる。
 - ・
- 2、 もし今後以下のような入室方法になるとした場合、貴病棟としての御意見を御記入下さい。
 - A: 車椅子入室について (賛成・反対・症例により・その他)
 - ・ 名前を書く紙が車椅子用の部屋にもほしい
 - ・ 車椅子で行っているのに車椅子をもってきて欲しいと言われたことがある。
 - ・ 歯科は車椅子、外科でも車椅子入室は可能だと思う。
 - ・ 前投薬がなければ車椅子でよい。移動時間が短縮できる。
 - ・ ストレッチャーで OPE 室の坂を上がるのは大変
 - ・ 車椅子でよい患者さんがわざわざストレッチャーに乗って行くのは必要ないと思う。
 - ・ 賛成 車椅子で十分、Pt の視線で移動できる、転落の危険が少ない、移動がスムーズ (坂道)
 - ・ 帰りがストレッチャーになる場合はそのままストレッチャーで。
 - ・ 歩ける患者は歩行入室でもよい。
 - ・ スリッパなど私物を忘れないようにする。
 - B: 歩行入室について (賛成・反対・症例により・その他)
 - ・ 歩いていける患者さんは希望があれば行ってもらってもいいが別に賛成も反対もない。
 - ・ OPE 着が短く廊下を歩くと見た目が良くない。そこを解決して欲しい。
 - ・ 前投薬がない人は歩行でよい。
 - ・ 歩いて行きたいという患者は多い。
 - ・ お迎えについての検討が必要。術衣についても。
 - ・ 患者の状態がよければ。
 - ・ 術衣の工夫が必要。

入室アンケート結果

手術室スタッフよりの意見

資料②

1、病棟からの申し送りについて

送り表(病棟→手術室):

前投薬欄は必要か。

記載内容の検討が必要。・・・もっとわかりやすく。

緊急時は簡単なサマリーも書いて欲しい。

内容は全て読まず重要事項のみ伝えて欲しい。

持ち込み:

抗生剤の確認ができるように、指示表と薬剤はすぐに出せるようにして欲しい。

抗生剤の病棟看護師とダブルチェックの徹底

病棟へ:

安全ピンなど危険物は申し送って欲しい。

入れ歯・補聴器・指輪・ガーゼなど装着物がある時は申し送って欲しい。

皮膚損傷がある時は申し送って欲しい。

テープかぶれ、消毒アレルギーなどある時は病棟で使用しているテープや消毒の種類を教えて欲しい。

化粧・マニキュア、爪の長さ、臍処置など術前にチェックして欲しい。ヒゲは・・・。

既往歴で重要なものや、日々観察事項などは申し送って欲しい。術前訪問だけでは不十分。

2、現在の入室方法について

成人

ハッチウェイ:

前投薬がなければハッチウェイは不要だと思う。

ハッチウェイは患者負担が大きい。

入室:

手洗いなしの手術で手伝いのない時は移動が大変なため、病棟のストレッチャーのままでいいのでは。脊椎の時も左の柵が取れば、そのままでいいのでは。

ベッドへ自力移動ができれば車椅子入室でもいいと思う。

座位がとれれば車椅子でもいいと思う。

Zの時などわざわざ手術室のストレッチャーに移らなくてもいいと思う。そのままで。

麻酔科医に付き添って欲しい。いない時がある。

スタッフへ:

ベッド・ストレッチャーを押すスピードが早い。Ptへの心使いが欲しい。

寒い時保温への配慮が足りない。電気毛布のみでは足や肩がでいていたりするのに。

小児

方法:

入室方法は統一したほうがいい。

連絡もなく歩いてきたりすると困る。準備でバタバタしてしまう。

歩ける児は基本的に歩行で、変更時は連絡をして欲しい。

状況により方法は決める。

保護者同伴入室:

全例でなく必要時はいいと思う。基準を決めて。

希望があれば同伴入室でもいいと思う。

今まで通りハッチウェイまででいいと思う。

いつまで保護者にいてもらっているのか、退室のタイミングが難しい。

同伴入室するのであれば事前の説明が必要。泣き出し、暴れ出してからでは同伴したとしても大変保護者の心構えも必要では。

麻酔科の準備が遅く保護者・児に不安を与えてしまうのではないかな。

手術室入室手順（案）

資料③

方法

- 1、 ストレッチャー入室
対象 前投薬のある患者様
自力ベッド移動が困難な患者様
ベッド移動に危険が伴う患者様
転倒リスクが高い患者様
脳外・心血管外科・帝王切開の患者様
★疾患等により必要な患者様
- 2、 車椅子入室
対象 前投薬のない患者様
自力で車椅子からベッドに移動できる患者様
ベッド移動に危険が伴わない患者様
- 3、 歩行入室
対象 前投薬のない患者様
局所麻酔手術で自立して歩行のできる患者様
★患者様本人が歩行での入室を希望されている場合

* ★印の患者様・入室方法変更の患者様は手術室リーダー（PHS1298）まで御連絡をお願いします。

服装

- 1、 ストレッチャー入室
術衣 or 病衣：患者様の状態により着脱が容易な服装
- 2、 車椅子入室
病衣 or 術衣：患者様の状態により着脱が容易な服装
病棟より手術室までの移動時は**保温**に注意して下さい。
上着、肌着を着用する場合は前開きのものを着用するようにお願いします。
- 3、 歩行入室
病衣：手術部位により術野を露出しやすい服装
病棟より手術室までの移動時は**保温**に注意して下さい。
上着、肌着を着用する場合は前開きのものを着用するようにお願いします。

入室方法

- 1、 ストレッチャーでの入室
 - ① OPE センター受付に診療科・患者名を伝えて下さい。
 - ② 乗換ホール・使用中の電気の点いていないドアより患者様の足から入室して下さい。（フットスイッチにてドアの開閉を行って下さい。）
＊入室後すぐにドアを閉めて下さい。ドアが閉まらなると手術室側のドアが開きません。
 - ③ 患者様に帽子をかぶせ、リストバンドのバーコード認証を行って下さい。
 - ④ 手術室看護師と共に患者様の ID・名前（手術部位、左右どちらか）の確認を行って下さい。
 - ⑤ 手術室看護師の誘導によりストレッチャーにストッパーをかけ患者様のハッチウェイへの移動を介助して下さい。
＊ハッチウェイよりの転落予防のため手術室ベッドに移動までは患者様より目を離さないで下さい。